

第 1 回全日本バドミントン選手権大会の開催期日と会場について

日本バドミントン協会（NBA）は、昭和 21 年 11 月 2 日に設立されました。

では、第 1 回全日本バドミントン選手権大会はいつ、どこで開かれたのでしょうか？

答は、昭和 23 年 5 月 8 日～9 日 第二師範女子部体育館でした。

NBA は、設立の翌年度（昭和 22 年度）に第 1 回大会の開催を予定していたのですが、翌年度にずれ込んだと考えられます。

以下、結論を得るまでの資料の分析とその経過を示します。

資料 1 日本体育協会 昭和 33 年 8 月 1 日発行「スポーツ八十年史」

資料 2 日本バドミントン協会発行「40 年小史」 編集長 伊藤鑛一氏

資料 3 朝日新聞縮刷版 昭和 23 年 5 月号

資料 4 東京学芸大学創立 20 周年記念誌

資料 5 文京ふるさと歴史館発行「ぶんきょうの町名由来」の付録・文京区新旧町名対照地図

資料 1 の P463-468 に「バドミントンの歴史」という記事があり、P465 から、全日本選手権大会の第 1 回から第 6 回の記録が載っています。それによると、

第 1 回は

昭和 23 年 5 月 8 日～9 日、東京青山女子師範体育館、参加人数（約 80）審判長（広田兼敏）

資料 2 の 1948 年（昭和 23 年）のページには、開催期日の記載は無く、会場は東京（本郷・女子師範）となっています。

ここで、青山と本郷の表記の違いに戸惑いました。

そこで、地元の図書館で資料 3 の 5 月 8 日から 10 日のスポーツ欄の記事を調べたところ、バドミントン大会に関して、会場は次の 3 通りの表記がありました。

8 日付新聞の「今日の運動」に「10 時本郷第二師範」

9 日付新聞の「今日の運動」に「9 時二師女子部」

10 日付新聞の「九日の記録」に「第二師範」

（大会 5 種目の決勝の記録付）

ここで、すべての会場名は東京第二師範学校女子部の略称だと理解しました。

資料 4 によると、東京第二師範学校女子部は昭和 19 年 4 月に、本郷区追分国民学校と本郷国民学校の校舎を譲り受けて開校しています。

地番は、本郷区駒込東片町二番地です。

ここで、資料 2 における本郷・女子師範は理解できます。

（次ページへ続く）



GOOGLE MAP より借用

資料4で、文京区の新旧町名を調べましたところ、前ページの地図の「本郷通り」と「白山通り」に挟まれた部分の左半分が旧「駒込東片町」でした。

なお、右半分の一部が「駒込追分町」でした。

「第二師範女子部」の校地の跡地は現在の文京区立第六中学校となっています。

現在の町名番地は、文京区向ヶ丘 1-2-2 です。

なお、東京第二師範学校女子部は昭和 24 年に設立された東京学芸大学の追分分校と呼ばれていて、昭和 27 年度末に廃校になっています。以下、参考資料を 3 件付記しました。

[参考 1] 第 1 回全日本バドミントン選手権大会結果（各種目ベスト 4）

種目	優勝	準優勝	3 位	4 位
MS	岡 淳一 (神奈川)	藤井 光男 (東京)	広田 敏秀 (東京)	秋元 幾三 (神奈川)
MD	広田 敏秀(東京) 藤井 光男	相馬 万吉(神奈川) 秋元 幾三	宮沢 宏之(東京) 今村 正雄	森 勇(神奈川) 岡 淳一
WS	川俣 千枝子 (神奈川)	中村 タキ (神奈川)	小仲 美代子 (神奈川)	岡 広子 (神奈川)
WD	川俣 千枝子(神奈川) 中村 タキ	小仲 美代子(神奈川) 岡 広子	荒井 貞子(東京) 新開 章子	川口 (愛知) 金森
XD	森 勇(神奈川) 岡 広子	山田 康久(東京) 新開 章子	斉藤 (東京) 中西	鈴木 (神奈川) 吉田

[参考 2] 大会使用球(シャトル)は、「群馬県バドミントン協会 30 周年記念誌」によると、英国製のウィルソン・ブルーバードでした。

[参考 3] 第 2 回全日本バドミントン選手権大会は、昭和 24 年 2 月 5,6 日に、横浜 YMCA 他で開催されています。その結果(各種目ベスト 4)は、次の通りでした。

種目	優勝	準優勝	3 位	4 位
MS	岡 淳一 (神奈川)	広田 敏秀 (東京)	藤井 光男 (東京)	佐藤 保 (北海道)
MD	広田 敏秀 藤井 光男 (東京)	岡 淳一 井上 正春 (神奈川)	相馬 万吉 秋元 幾三 (神奈川)	佐藤 保 西野 泉 (北海道)
WS	吉田 とよ子 (神奈川)	成瀬 龍子 (石川)	保田 久子 (愛知)	遠藤 文子 (神奈川)
WD	川俣 千枝子 中村 タキ (神奈川)	小林 歌子 遠藤 文子 (神奈川)	吉沢 千里 後藤 範子 (愛知)	小仲 美代子 岡 広子 (神奈川)
XD	E・エマール 川俣 千枝子 (神奈川)	鈴木 芳久 吉田 とよ子 (神奈川)	新開 山田 清子 (東京)	山田 康久 新開 章子 (東京)

以上終了